
雨の日に・・・

舞♪

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

雨の日に・・・

【Nコード】

N4149T

【作者名】

舞♪

【あらすじ】

名探偵コナンの小説。

平和が主人公。

雨の日の2人の物語です。

1 ひよりいふ

（なんだか雨が降りそうやなあ。）

遠山和葉は放課後、誰もいない教室でそう思っていた。

（今日の午前中はあんなに暑かったんになあ。）

「最近の天気はおかしいわ。」

そうつぶやいてみる。

和葉の言うとおり、最近の天気はおかしい。

午前中はとても暑かったのに、午後からは急に雨が降りそうな天気になるのだ。

（もうそろそろ帰ったほうがいいんとちゃう？）

雨、降りそうやしな・・・

そう思った和葉は教室から少し駆け足で玄関に行った。

1 ひとりごと（後書き）

はじめまして！

舞♪です。

初投稿作品ですがどうだったでしょうか？

感想をいただけるとうれしいです。

全くの素人ですが、よろしくお願いします！

2 玄関

和葉が玄関に着くと、さっきまで小雨だった雨が本降りになった。

（うわぁ・・・ちよつと来るの遅かったみたいや。）

はぁ、とため息をついてみる。

（でもしゃあないし、帰るか。）

仕方なく、濡れるのを覚悟で折りたたみ傘を出した。

そのときだった。

「和葉」

と自分と呼ぶ声が小さく聞こえた。

誰やろう？

思わず傘を広げる手を止めた。

この声には聞き覚えがある。

この声は間違いなく・・・

「・・・平次!？」

雨のせいで視野が悪くなっている。

しかし、その中で浮かび上がる姿と声。

それは紛れも無く・・・

3 傘

「平次、どうしたん!？」

「何がや？」

「その格好や! ずぶ濡れやんか！」

あの姿と声はやはり、幼馴染の平次だった。

その姿はあまりにもずぶ濡れで。

「見れば分かるやろ! 濡れたんやわ！」

そう言って、和葉の方に駆けてくる。

「なあ、傘ないん？」

「今日は忘れてきたんや。」

「そうなんや・・・じゃあ、うちの傘使う?」

そう言って、自分がさしていた傘を平次に差し出した。

「お前、もう1本傘あるんか？」

「ないけど・・・うちは近くやし、走って帰るでええわ。」

「ええ訳ないやろ！風邪ひくで！」

「大丈夫や！じゃあね！」

和葉はそう言うと、自分の家の方へ走りだした。

遠くで平次が止める声を背中にして・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4149t/>

雨の日に・・・

2011年10月9日02時25分発行